

# 令和 6 年度 社会教育事業実績報告書

## 1 社会教育係の推進事業

### (1) 生涯学習の総合的な推進

町内で実施される講座情報を取りまとめた冊子「あしや塾」を広報へ折り込み(全戸配布)を行った。(平成 21 年度から継続実施)。また、転入時に住民窓口で配布するなど、あらゆる機会を通して PR に努めた。

○生涯学習講座あしや塾の発行：6,850 部製作、町内全戸配布（令和 7 年 3 月 25 日（火）配布）

### (2) 社会教育の推進

#### ①社会教育委員の会

芦屋町全体の社会教育の向上及び生涯学習課が実施した事業の検証、生涯学習課が実施する事業の助言を受けた。また、各種研修会に参加し個々の資質の向上を図った。

#### ②社会教育団体の支援

社会教育団体補助金

○芦屋町人権・同和教育研究協議会（235,000 円）

○町民プラスバンド：芦屋シンフォニック吹奏楽団（300,000 円）

以上 計 2 団体

※町民プラスバンドについては、補助金の他、楽器の貸付を行う。

#### 取組への評価・課題

●生涯学習講座あしや塾への掲載内容の充実を図ることができた。

●行政と地域の協働のまちづくりを担う各社会教育団体に対し、町内の各種事業における団体との連携や、各団体の独自の活動（研修会など）における会員（団員）の資質や技術の向上を求めるとともに、地域の指導者（団体）としての人材育成と継続的な人材確保を促進するため、支援やアプローチを行った。

### (3) 青少年の健全育成

#### ①あしやハンズ・オン・キッズ

町内 3 小学校の 4 年生～6 年生を対象に年間を通じた体験活動を実施した。

家庭を離れて日常生活では体験できない規律ある共同生活を送ることで、連帯感や協調性、責任感を醸成することができた。

○参加者数 32 人。

○スタッフにハンズ・オン・キッズ OB、OG など延べ 56 人が参加し、連携を図りながら参加者の指導にあたる。

実績	日 程	内 容	場 所
開講	6 月 12 日（水）	開講式、保護者説明会	町民会館
1 回	6 月 29 日（土）	磯あそび	町民会館、夏井ヶ浜海岸
2 回	7 月 20 日（土）	マネースクール	町民会館

3回	8月22日(木) ～24日(土)	サマーキャンプ	町民会館 夜須高原青少年自然の家
4回	9月28日(土)	防災チャレンジ	町民会館、福岡市民防災センター
5回	10月19日(土)	ものづくり	町民会館
6回	11月10日(日)	出店体験	町民会館
7回	12月21日(土) ～22日(日)	ウィンターキャンプ	町民会館 少年自然の家「玄海の家」
8回	1月18日(土)	まとめ研修①&お楽しみ会	町民会館
9回	2月15日(土)	まとめ研修②&草スキー	町民会館、サンビレッジ茜
閉講	3月15日(土)	報告会、お別れ会、閉講式	町民会館

#### 取組への評価・課題

●ハンズ・オン・キッズ事業は、ほぼ計画どおりに事業を実施することができた。ただし、第6回の出店体験研修については、砂像展への出店を計画していたが、悪天候により砂像展が中止となったため、会場を変更し実施した。研修生は、さまざま体験活動を経験することができた。今後も、魅力のある事業を計画し、研修生の参加意欲を図っていく。

#### ②栃木県佐野市との青少年交流事業

茶の湯釜の産地として歴史的に共有の文化をもつ栃木県佐野市（天明釜）との交流事業の実施。

○令和6年度は、本研修を8月7日（水）～9日（金）に栃木県佐野市で実施した。

○芦屋町参加者：12人（小中学生）、佐野市参加者：13人（小中学生）

○スタッフに佐野市青少年交流事業OG2人が参加し、連携を図りながら参加者の指導にあたった。

実績	日程	内容	場所
説明会	7月10日(水)	保護者説明会	中央公民館
1回	7月24日(水)	第1回事前研修(仲間づくり、芦屋釜の学習)	中央公民館 芦屋釜の里
2回	7月31日(水)	第2回事前研修(こどもサミット準備)、出発式	中央公民館
3回	8月7日(水) ～9日(金)	本研修(デコレーションペーパーマづくり、こどもサミット、日光東照宮ウォークラリー、華厳の滝見学、佐野らーめん作り体験)	栃木県
4回	8月31日(土)	事後研修(活動のまとめ、報告会発表練習)	中央公民館
報告会	9月7日(土)	報告会	中央公民館

#### 取組への評価・課題

●コロナ禍以前よりも参加人数を縮小して実施したが、参加者及び保護者のアンケートでは満足度が高かった。

●参加申し込みが定員割れを起こしているため、参加者数を確保できるように啓発を行っていく。

### ③ 芦屋町青少年問題協議会

町内各種団体の代表者や地域住民により組織され、芦屋町の青少年健全育成にあたり、様々な事業について、啓発活動や総合的な施策の調整、審議を行った。

- あいさつ運動……………毎月月初めの登校日（学期初めは2日間）に街頭啓発の実施。
- 非行防止夜間巡回……………2市4町協働パトロール（12回）
- 環境浄化……………有害図書、有害玩具の立入調査実施や白いポストの維持管理、水禍防止看板等の管理
- 広報啓発……………「すくすく育てあしやっ子」記事の掲載。4回
- 安全パトロール実施……………教育委員会職員が町内へ外出する際に、併せて安全パトロールを実施した。また、不審者発生時に随時実施。※R6年度は計6回実施

#### 取組への評価・課題

- 青少年問題協議会事業について、折尾警察署等関係機関と連携し情報交換・共有していく。
- 安心・安全なまちづくりの実現のため、町民に対して不審者情報を発信し、町全体の防犯意識が高まるよう努める。

### ④ いきいき芦屋っ子育成補助事業、国内外研修派遣事業補助事業

交流や文化・産業・地域活動のあり方などの研修をとおして、地域リーダーとなる人材の育成を目的に国・県や社会教育関係団体が主催する人材養成事業への参加費を助成する。

- いきいき芦屋っ子育成補助事業　事業利用者なし
- 国内外研修派遣事業補助事業　事業利用者なし

#### 取組への評価・課題

- 補助事業の活用を図るため、補助事業の内容等を広報紙に掲載し周知を行っていく。

### ⑤ 二十歳のつどい開催

1月の成人の日前の日曜日に二十歳を祝う会を開催した。第一部の記念式典では、芦屋シンフォニック吹奏楽団による演奏などを実施し、第二部では恩師との交流会を実施した。

- 令和7年1月12日（日）　町民会館大ホール
- 対象者146人に対し、参加者101人（町内居住86人、町外15人）
- 二十歳の記念品として、錫製酒器を贈呈

### ⑥ 新成人のお祝い実施

○民法改正により令和4年4月1日から成人年齢が18歳に引き下げられたことに伴い、新成人になることをお祝いし、大人としての自覚を持つことを促すため、町長からのお祝いメッセージカードを贈った。

- 対象者124人にお祝いメッセージカードを送付

#### 取組への評価・課題

- 令和6年度は、第二部の恩師との交流会を昨年度と同様に飲料のみの提供とした。
- 令和5年度までは、二十歳の記念品として書籍としおりを贈呈していたが、令和6年度からシビックプライドの醸成を図るため芦屋鋳物師が作成した錫製酒器の贈呈に変更した。

- 18歳の人に成人になることに伴う注意喚起を示した消費者庁啓発チラシを同封することで、新成人としての自覚を促すことができた。

#### (4) 家庭教育の推進

##### ①チャレンジキャンプ事業の実施

こども自身の豊かな心の醸成を図り、心身ともに健全で社会性のある人格形成を目指すとともに、親子で参加することで家庭教育力の向上を図り、体験活動の重要性を感じてもらうことを目的で実施した。

○町内の小学校1～3年生の児童とその保護者を対象に、ものづくり及びクッキングを実施した。

○参加者数：8組20人（保護者9人・児童11人）

○日時：令和6年11月23日（土）午前9時～午後1時25分

○場所：中央公民館 45会議室、調理室

##### 取組への評価・課題

- チャレンジキャンプ事業は、当初6月に実施予定であったが、悪天候により、11月に変更し実施した。11月も悪天候のため、会場をみどりの広場から中央公民館に変更し実施した。参加者のアンケートでは、また、チャレンジキャンプに参加したいとの回答が多かった。来年度は、6月にみどりの広場で実施し、悪天候時でも、会場を中央公民館に変更し実施できるようにする。

##### ②広報啓発活動

○広報紙に「すくすく育てあしやっ子」などを掲載した。

発行日	テーマ	タイトル
6月号	すくすく育てあしやっ子No.191	「朝ごはんを食べましょう」
9月号	すくすく育てあしやっ子No.192	「こどもに身につけさせたい横断歩道の渡り方」
12月号	すくすく育てあしやっ子No.193	「こどもの将来のために、正しいしつけをしましょう」
3月号	すくすく育てあしやっ子No.194	「体験活動に参加しましょう」

##### 取組への評価・課題

- 子育てに時間が取れない、子育てに不安や悩みがある、誰にも相談できず孤立しがちである、子育てに関心はあるが学ぶ余裕がないなど、広報紙に「すくすく育てあしやっ子」を掲載することによりさまざまな保護者に対して啓発活動を行うことができた。

#### (5) 人権・社会同和教育の推進

##### ①芦屋町人権教育・啓発基本計画の推進

地域の実情に即した人権教育・啓発を推進するため、令和5年度に策定した第2次芦屋町人権教育・啓発基本計画（計画期間：令和5年度～14年度）に基づき、「一人一人が個人として尊重される社会」「一人一人が個性や能力を十分に発揮する機会を保障される社会」「違いを認め合い、多様性が尊重される社会」の三つの社会を実現することを基本理念に、事業を推進した。

#### 取組への評価・課題

- 「第2次芦屋町人権教育・啓発基本計画」に基づき、人権に関する意識の向上及び人権啓発を推進して行くことができた。
- 定期的に事務事業調査を実施し、達成状況を把握することで、第2次人権教育・啓発基本計画に基づいた施策の推進に努めていく。しかし、昨年度は、事務事業調査を実施することができなかった。そのため、今年度は、事務事業調査表を作成し調査できるように努める。

#### ②人権・同和教育講演会（7月：福岡県同和問題啓発強調月間）

人権・同和教育などに対する正しい認識と理解を深め、自らの課題とすることで、意識高揚を図るため、芦屋町、芦屋町教育委員会、芦屋町人権・同和教育研究協議会主催で、町民を対象に映画上映を開催した。

○芦屋町人権講演会 令和6年7月5日（金） 午後6時30分～8時45分 町民会館大ホール

※同和問題啓発強調月間行事として開催

映画上映（テーマ：同和問題） 島崎藤村「破戒」

来場者：277人

#### 取組への評価・課題

- 6年度の人権テーマに沿った映画を上映することにより、福岡県同和問題啓発強調月間に併せて、町民に対して啓発を行うことができた。
- 参加者の年齢は70代以上が一番多く、次いで50代、20代の順であった。参加者年齢は、固定傾向にあるが、今回の映画は一般でも上映されたものであったため、近年で一番の参加状況だった。構成団体へのチラシ配布等を行い、集客を増やすことができた。来年度以降も継続していく。また、町のホームページ、公式LINE、戸別受信機などを活用して周知を図り、来場者の増加に努める。
- 人権講演会に合わせ、会場ロビーに人権啓発パネルと男女共同参画パネルを展示することで、さらに啓発に努めることができた。

#### ③人権まつりの開催（12月：人権週間：12/10（人権デー）を終日とする1週間）

芦屋町、芦屋町教育委員会、芦屋町人権・同和教育研究協議会主催で、実行委員会形式により開催した。

○第26回芦屋町人権まつり 令和6年12月7日（土）午前10時30分～午後3時 芦屋町町民会館

※人権週間啓発行事として開催

各種団体による「ふれあいイベント」（2団体）

青少年の主張大会 発表者9人（小学生6人、中学生3人）

人権講演会（テーマ：女性の人権）

講師：松本 久美子 さん（フリーアナウンサー・人権擁護委員）

演題：認め合う心 ～ガラスの壁を越えて～

人権啓発パネルの展示、小中学生による人権啓発作品の展示、男女共同参画啓発パネルの展示

来場者：446人

## 取組への評価・課題

- 昨年の来場者より若干の増となり、さまざまなイベントを通して人権啓発を図ることができた。
- 人権まつりのアンケート結果の感想では、「大変満足」と「まあ満足」を合わせると94.7%あり、良かった催し物として、人権講演会と青少年の主張大会で86%の方が良かったと回答している。また、人権に関しての関心や理解についても、「大変深まった」と「深まった」を合わせると91.1%の回答があったことから、人権啓発が図られたと考える。
- 毎年テーマが変わるため、テーマに沿って講演の形式や内容を検討し、より多くの人に人権啓発ができるように努めていく。また、人権まつりの開催に関する情報をホームページ及び戸別受信機などで情報発信するとともに、町内各学校や区長会への周知を徹底し、人権まつりの来場者数の増加に努める。

### ④ 広報啓発活動ほか

#### ○ 人権カレンダーの製作

小中学生の人権作品（ポスターなど）を掲載した人権啓発カレンダー（A4版）6,850部を製作し、町内全戸配布（令和6年12月25日（水）配布）

#### ○ 人権啓発冊子の製作

同和問題、外国人の人権をテーマに啓発冊子（A4版16ページ）6,850部を製作し、町内全戸配布（令和7年2月25日（火）配布）

#### ○ 人権啓発パネルの展示

同和問題啓発強調月間（7/1～31）および人権週間（12/4～10）に役場ロビーで人権啓発パネル展示を行い、人権啓発に努めた。

#### ○ 街頭啓発の実施

福岡県同和問題啓発強調月間（7月） 令和6年7月1日（月） 町内2か所  
人権週間 令和6年12月3日（火） 町内1か所

#### ○ 各種研修会への参加

福岡県社会人権・同和教育担当者研修会  
福岡県市町村社会人権・同和教育担当部課長研修会  
北九州教育事務所管内人権教育指導者研修会  
人権啓発研究集会  
部落解放・人権確立全九州研究集会

## 取組への評価・課題

- 人権啓発カレンダーでは、町の人権に関する取り組みや小中学生の人権標語・人権ポスターなどを掲載したカレンダーを作成した。また、人権カレンダーを全戸配布し人権啓発に努めた。
- 人権啓発冊子では、第2次芦屋町人権教育・啓発基本計画の9つの分野の中から同和問題及び外国人の人権をテーマに選出し、特集記事を作成した。また、さまざまな人権課題や、町内で行っている人権啓発活動について紹介し、人権問題の情報提供や人権尊重の教育と啓発に努めた。
- 人権カレンダー・人権啓発冊子のページ数やレイアウトなど、住民が人権に触れやすい内容を、担当及び芦屋町人権・同和教育研究協議会内で検討していく。また、人権カレンダーが、各家庭で活用できるようにレイアウトなどを検討していく。

- 人権問題について正しい理解を促すことができるよう人権啓発冊子の内容の充実を図り、町内の全戸配布を継続して芦屋町の人権教育・啓発に取り組む。
- 同和問題啓発強調月間中に街頭啓発を行い、人権講演会（映画）のPRと同和問題に対する意識啓発を実施することができた。
- 人権週間に街頭啓発を行い、人権まつりのPRとともに人権問題に対する意識高揚に努めることができた。
- 毎年同和問題啓発強調月間と人権週間に役場ロビーに人権啓発パネルの展示を行っているが、他の自治体も同時期に展示を行うため、福岡県人権啓発情報センターにパネルの借用が集中して希望するパネルの確保に苦慮した。今後は、展示物の選定を前倒しで行い、確保に努める。
- 各研修会において差別の実情や近隣市町村の啓発事業実践事例を学ぶことができた。芦屋町の今後の人権教育・啓発事業の参考となるものを検討し、事業の充実を図っていく。

## （6）男女共同参画社会の推進

### ①芦屋町男女共同参画推進プランの推進

男女共同参画社会の実現のため、令和4年度に策定した第3次芦屋町男女共同参画推進プラン（計画期間：令和5年度～14年度）に基づき、各課とともに事業を推進した。

### ②住民向け研修及び職員研修の実施

○職員向け研修を実施し、対象者165人のうち137人が参加した。

（令和6年6月27日（木）、28日（金））

演題：①「みんなの育休研修」

② 芦屋町の育児休業制度について

講師：① 江崎グリコ株式会社 奥本 佳代 氏 他3人

② 総務課人事係 今中 恭子 主査

### ③広報啓発活動

○6月の男女共同参画推進週間に、男女共同参画に関する特集記事を広報に掲載した。また、例年6月下旬から7月上旬に役場ロビーで行っていた男女共同参画のパネル展示を、中央公民館1階の住民サロンに変更し、さらに横の図書館内に男女共同参画に関する特集コーナーを設けて啓発に努めた。また、7月の人権講演会でも同パネルの展示を行った。

### ④男女共同参画審議会

男女共同参画推進プランに基づく、事務事業の報告や計画について審議・助言を行った。

#### 取組への評価・課題

- 第3次男女共同参画推進プランに基づいた取り組みを実施する。事務事業調査を実施することで達成状況を把握し、施策の推進に努める。
- 隔年で、住民向けと職員向けの男女共同参画研修を実施している。令和7年度は、住民向け（公民館と協働）研修であるため、多くの人が参加するよう住民への周知に努めていく。
- 男女共同参画に関するパネルを貸し出しする施設が少ないので、さまざまな方法でパネルの確保に努める必要がある。

## (7) 社会体育活動の充実

### ①社会体育事業の実施

芦屋町スポーツ推進委員・芦屋町体育協会・総合型地域スポーツクラブと連携して、スポーツを通じた交流やコミュニティの活性化の活性化及び町民の体力づくりのイベントを実施した。

種目・大会名等	実施日	実施場所	参加者数
ポールウォーキング講座 (1回)	令和6年4月20日(土)	総合体育館～アッシーグラウンド	4人
キッズスポーツフェスタ	令和6年6月1日(土)	総合体育館(メインアリーナ)	77人
町民体育祭	令和6年10月13日(日)	総合運動公園中央グラウンド	1,122人 ※1
ヨガ教室	令和6年11月8日(金)	総合体育館(サークル室)	12人
スロートレーニング講座	令和7年3月14日(金)、16日(日)	総合体育館トレーニング室	8人
障がい者レクスポ大会	令和7年3月23日(日)	総合体育館(メインアリーナ)	36人

※1 競技参加者延べ人数

#### 取組への評価・課題

- キッズスポーツフェスタは、コロナ禍前の接触可能な種目で大会を実施した。内容の充実化を図りつつ継続して実施していく。
- 障がい者レクスポ大会は、参加団体数を考慮し令和4年度に実施した体験ブース設置方式で、ボッチャとカローリングを実施した。内容の充実化を図りつつ継続して実施していく。
- 各種事業で参加人数が減少傾向にある。参加人数を増やすため、内容のチラシのデザイン変更など、周知方法の工夫が必要。
- 既存事業に加え、町のニーズに合わせた新たな健康づくり教室の実施に向けて検討していく必要がある。

### ②スポーツ推進委員

町民体育祭やキッズスポーツフェスタなど町の事業運営に関する企画・立案や、町の生涯スポーツ振興に関わることについて協議を行った。

#### 取組への評価・課題

- 従前からの事業に加え、新たな事業への取組(ボッチャ推進)について協議が進んだ。令和7年度から3か年計画を委員と連携して進めていく。

### ③社会体育団体の支援

#### A. 芦屋町体育協会

競技スポーツの推進を図るため芦屋町体育協会と芦屋町スポーツ少年団を支援し、スポーツ指導者の

人材育成を図った。

ア. 社会体育団体補助金

芦屋町体育協会補助金 (3,481,556 円)

スポーツ少年団補助金 ( 613,246 円)

町内スポーツ大会実施助成金 ( 475,000 円)

イ. スポーツ大会・教室の開催（体育協会主催）

スポーツを通じた青少年健全育成や、こどもから大人までが参加できる町内スポーツ大会及びスポーツ教室を連携して開催することで、町民が健康づくりや親睦を目的に各種競技に参加できる機会の提供を行った。

種目・大会名等	実施日	実施場所	参加者数
卓球大会	令和6年4月21日（日）	総合体育館	41人
グラウンドゴルフ大会	令和6年5月26日（日）	中央グラウンド	114人
ソフトバレーボール大会	令和6年6月23日（日）	総合体育館	96人
ソフトボール大会	令和6年9月8日（日）	中央グラウンド	173人
マラソン大会	令和6年11月24日（日）	海浜公園	71人

児童を対象とした事業

教室名	実施日	回数	実施場所	参加者数
水泳教室	令和6年7月22日（月） ～26日（金）	1回	山鹿小学校プール	46人
ジョギング教室	令和6年11月18日（月） ～22日（金）	1回	祇園崎運動広場	39人 ※5日間 延べ人数

B. 総合型地域スポーツクラブ

総合型地域スポーツクラブ実施事業の広報活動など支援した。

C. 遠賀郡体育協会

夏季・秋季・冬季郡民大会の広報活動、会場貸付など支援を行った。

郡体育協会負担金 1,033,600 円

取組への評価・課題

- 体育協会、スポーツ少年団の他、県等の各担当部局との連携も深め、所属団体にさまざまな情報の提供を行う。
- 体育協会役員の高齢化や、役員のなり手不足などにより、連携を行う上でさまざまな課題点がある。しかし、スポーツ事業の実施及び活性化が必要である。このため、今後も連携しながら事業を継続していく。

#### ④社会体育施設の改修等

##### 【総合運動公園】

- 総合体育館・小体育館の老朽化した卓球台を買い替えた。
- 総合体育館のバレーボール支柱が老朽化していたため、買い替えた。
- 総合体育館のソフトバレー・バドミントン支柱が老朽化していたため、買い替えた。
- 総合体育館のワイヤレスマイクが老朽化していたため、買い替えた。
- 総合体育館・テニスコート更衣室内のコインロッカーが老朽化していたため、買い替えた。
- 中央グラウンド倉庫内イベント用テントが老朽化していたため、買い替えた。
- 中央グラウンド倉庫内の長机が老朽化していたため、買い替えた。
- 中央グラウンドの朝礼台が老朽化していたため、買い替えた。
- 中央グラウンド・テニスコートのコートブラシが老朽化していたため、買い替えた。

##### 【テニスコート】

- オムニコートの撤去・フェンスの取り替え、照明のLED化を行った。  
※テニスコート改修工事：令和6～7年度
- 老朽化案内看板の撤去工事を行った。

#### ⑤芦屋町体育スポーツ出場参加補助金

芦屋町民のスポーツの普及及び振興を図るため、各種大会（全国大会・九州大会など・郡民体育大会・県民体育大会）に参加する者に対し、補助金を交付した。

体育スポーツ大会出場参加補助金	4人
郡民体育大会（夏季大会）	6人
県民スポーツ大会（夏季大会）	5人
郡民体育大会（陸上大会）	29人
郡民体育大会（秋季大会）	102人
県民スポーツ大会（秋季大会）	45人
市町村対抗福岡駅伝	13人

#### (8) ボランティア活動センター事業

##### ①コーディネート事業

ボランティアを必要としている団体・組織と、ボランティアに興味・関心のある個人・団体を繋げることができた。また、ボランティアに興味・関心のある個人に対しての相談に乗り、情報提供を行った。ボランティアやイベント、セミナー情報に関するチラシやポスターなどを利用し、情報発信を行った。

##### ②りーどぼらんていあキッズ事業

平成24年度よりこどもたちのボランティア活動推進に取り組んでいる。令和6年度は町内の小学生を対象に「りーどぼらんていあキッズ」事業を行い、研修会や実践活動を通じてボランティア活動について学習した。参加者数23人。

実績	日程	内容	場所
1回	6月15日（土）	活動結成式・保護者説明会	町民会館

2回	7月6日(土)	赤しそ収穫支援	町民会館、農家農地(栗屋地区)
3回	9月14日(土)	折り紙制作・寄贈	町民会館
4回	10月1日(火)	赤い羽根街頭募金協力	スーパーはまゆう前
5回	10月5日(土)	あしやビーチクリーンアップ	芦屋海浜公園内海岸
6回	12月7日(土)	人権まつり「あそびのひろば」	町民会館
7回	12月26日(木)	日明浄化センター見学	北九州市日明浄化センター
8回	2月1日(土)	年間活動結果のとりまとめ	町民会館
9回	3月1日(土)	年間活動報告会・修了式	町民会館

### ③ボランティア養成・支援事業

芦屋町ボランティア活動センターの活性化

○登録団体数 29団体(令和7年3月末現在)

○個人登録者数 41人(人財バンク登録含む) 前年度から1人増

○利用者数の推移(単位:人)

年度 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
令和2年度	69	55	78	193	109	219	275	188	250	199	150	210	1,995
令和3年度	207	79	126	228	92	55	208	211	228	181	201	356	2,172
令和4年度	186	193	243	212	175	236	231	209	205	210	177	263	2,540
令和5年度	200	265	231	204	154	165	180	375	248	164	268	267	2,721
令和6年度	183	222	253	229	111	196	176	223	281	185	164	246	2,469

### ○講座・研修の実施

新規ボランティアを発掘・育成するため、ボランティア未経験者がボランティア活動を始めきっかけとなるような体験型講座や、経験者のスキルアップを目的とした体験型・交流型研修を実施した。

日程	内容	場所	参加者数
5月25日(土)	第1回ワールドカフェ	町民会館	16人
8月24日(土)	ボランティア養成講座(折り紙ボランティア)	町民会館	27人
11月13日(水) ~27日(水)	クラフトマーケット	ボランティア活動センター	
3月8日(土)	ボランティア養成講座(おしぼり人形ボランティア)	町民会館	28人

### 取組への評価・課題

- ボランティア活動センターは年間を通じて一定の利用が見られる。新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数が大きく減少していたが、徐々に回復している。
- どの団体も人材確保や後継者不足といった課題を抱えている。活動団体の周知やボランティア研修

会などを実施し、町民にボランティア活動を広め、ボランティア活動を始めるきっかけとなる機会を提供していく。

- 第3次芦屋町ボランティア活動推進計画に基づき、各種事業を推進していく。

#### (9) 町民会館運営事業

- 貸館運営のみで、館独自の講座、研修会、イベント企画等を実施していない。
- 計画的に施設の整備及び備品の交換が行えるよう、施設管理者や管理人による日々の点検や業務委託による定期点検を実施し、施設の維持管理に努めた。
- 488,600円の使用料収入。11,719人の利用があった。
- 消防用設備点検で機器不良判定との指摘を受けたため、出入口及び会議室5に設置されている誘導灯2台の改修工事を行った。
- 非常階段の扉が破損したため、修繕工事を行った。
- ステージ上及び舞台裏で雨漏りが発生したため、ホール側の屋上防水の補修工事を行った。
- 台車のサイズが大きく、操作が難しいため、サイズが小さいものに買い替えた。

#### 取組への評価・課題

- 施設及び備品の老朽化により突発的に不具合や故障が発生しており、その都度修繕及び備品を購入している。計画的に施設の整備及び備品の交換が行えるよう、施設管理者や管理人による日々の点検や業務委託による定期点検を実施し、施設の維持管理に努める。
- 大ホールステージ天井のぶどう棚の老朽化により、吊物点検ができず、令和7年度から当面の間ステージの利用を中止としていることから、利用者への説明を十分に行う必要がある。また、利用再開に向け、改修工事について関係課と連携し進める。

## 2 公民館・文化系の推進事業

### (1) 公民館活動の活性化

#### ①公民館講座の充実

##### ○中央公民館講座

開催日	講座名	講師	参加者
4月14日(日)	維新政府誕生～中央集権で近代国家を目指す～	一坂太郎(萩博物館特別学芸員)	34人
5月11日(土)	春を彩る苔玉づくり	吉岡学(樹木医)	15人
6月8日(土)	ババちゃんのジジ(時事)放談 ～どうなる日本の政局と世界のこれから～	馬場周一郎(元西日本新聞社政治部記者)	35人
7月19日(金)	カラダは食べた物からできている～元気な人生100年のためのヒント～	平山愛友(榊明治食育担当管理栄養士)	30人
8月18日(日)	芦屋で鋳物を楽しもう!第3弾	樋口陽介(芦屋鋳物師)	14人
9月18日(水)	50歳からのダイエット	小野村健太郎(おのむら医院院長)	33人
10月20日(日)	旅するように季節を味わう、マンマの家庭料理	小笠英子(イタリア料理研究家)	14人
11月17日(日)	心に響くモンゴルの風第2弾	マンダルワ(馬頭琴演奏者)	76人
12月14日(土)	芦屋釜600年の旅～室町から現代へ～	新郷英弘(芦屋釜の里館長)	17人
令和7年 1月19日(日)	「健さん」と「さん」付けで呼ばれた男	矢野寛治(映画評論家)	57人
令和7年 2月15日(土)	知っているようで知らないがん検診～専門医によるホントのはなし～(産業医科大学出前講座)	平田敬治(産業医科大学若松病院病院長) 他専門医5人	77人
令和7年 3月15日(土)	日本に関する国際法の話IV	深町公信(熊本大学名誉教授)	23人
令和7年 3月19日(水)	芦屋基地を見て回ろう	航空自衛隊芦屋基地隊員	17人
13回実施		合計	442人

○各種公民館講座の実施

	講座名	開催時期	参加者	回数	延人数
中央公民館	スマホ入門講座	9月24日(火)～ 10月22日(火)	15人	5回	71人
	スマホ実践講座	11月5日(火)～ 12月5日(木)	14人	10回	130人
芦屋東公民館	小筆教室	6月16日(日)、 11月23日(土)	16人 11人		
	フラワーアレンジメント講座	12月22日(日)	15人		
山鹿公民館	ハーバリウム・クリスタル・ディ フューザーづくり	5月15日(水)	7人		
	手ひねり 薔薇のリースづくり	10月16日(水)	10人		
	しめ縄づくり	12月10日(火)	8人		

取組への評価・課題

- 受講者数は回復傾向にあるが定員に満たない講座も多いため、参加者数増を見込む講座内容や周知方法などの検討が必要である。
- コロナ禍で中止が続いていた芦屋基地の講座を5年ぶりに開催することができた。
- スマホ入門講座では、国が推進するデジタル社会の実現に向けた重点計画を踏まえ、機器を購入して間もない人を含む初心者を対象に基本操作や閲覧及びLINEなど、デジタルツールとしての利便性と危険性を学ぶ講座を開催した。機能や操作の変更点など日進月歩であるため、受講後も独学が必要となることが考えられる。

②土曜学び合いルームの事業

○5月～3月の土曜日に3小学校区で開催。(開催時間：午前9時～11時)

指導は、大学生ボランティア及び学校サポーターなど地域ボランティアで対応。

延参加者数	芦屋小校区	芦屋東小校区	山鹿小校区
児童	241人	223人	243人
学生ボランティア	58人	60人	60人
地域ボランティア	10人	46人	37人

取組への評価・課題

- コロナ禍による中断もあり、以前に比べると参加者は減少しているが、学校内での呼びかけにより、徐々に増えている。
- 指導者として、九州女子大学からの学生ボランティアだけでなく、地域ボランティアの協力も得られている。

③各小学校区祖父母学級

○3小学校区毎に開設

	芦屋小校区	芦屋東小校区	山鹿小校区
開催回数	11回	10回	23回
登録者(R6年度)	38人	23人	27人
延べ参加者	86人	85人	201人

**取組への評価・課題**

- 学校行事への参加や学級生による自発的な活動が増え、学習意欲の高揚が図れた。
- 全体的に登録者数が減少している。
- 平成30年度より実施している九州女子大学との連携講座「漢字の話」は、学級生に好評なため、引き続き実施できるよう関係各所と連携を取る。

④学校サポーター事業（平成23年9月発足）

○延べ144人の参加

【芦屋小】小学校敷地内除草・花植え作業、1年生授業支援、授業参観、土曜学び合いルーム  
(実施日・参加者数)

除草・花植え作業 6月5日(水)5人、10月4日(金)8人、12月4日(水)7人、  
令和7年3月5日(水)4人

1年生授業支援 令和7年1月30日(木)6人

授業参観 10月26日(土)8人、令和7年2月14日(金)2人、  
3月6日(木)6人

土曜学び合いルーム 5月25日(土)～令和7年2月8日(土)延べ1人

【芦屋東小】除草・花植え作業、1年生授業支援、東小まつり支援、感謝の会、土曜学び合いルーム  
(実施日・参加者数)

除草・花植え作業 10月11日(金)5人、12月3日(火)3人

1年生授業支援 6月27日(木)3人、令和7年1月29日(水)4人

東小まつり支援 11月9日(土)5人

感謝の会 令和7年3月5日(水)5人

土曜学び合いルーム 5月25日(土)～令和7年2月8日(土)延べ45人

【山鹿小】土曜学び合いルーム

(実施日・参加者数)

土曜学び合いルーム 5月25日(土)～令和7年2月8日(土)延べ27人

○芦屋小学校(21人登録)、芦屋東小学校(9人登録)、山鹿小学校(9人登録)

※芦屋中学校は特定のサポーターがないため、必要に応じて3小学校の登録者へ活動を要請する。

**取組への評価・課題**

- 学校サポーター事業について、学校行事の再開などにより活動機会が徐々に増えている。一方で、学校サポーターの登録者や参加者は減少傾向にある。学校ニーズを把握しサポーターが活動できる場を提供していくとともに、活動状況の広報や周知方法を検討し、サポーターの増加を図る。

⑤地区公民館長指導育成事業

○福岡県公民館連合会が主催する福岡県公民館実践交流会に参加した。

日時：令和7年1月24日(金) 午後1時～4時

会場：宗像ユリックス

参加者：地区公民館長2人と中央・山鹿の各公民館長及び担当係長・係員が参加

※芦屋町単独での地区公民館長研修は実施できなかった。

○地区公民館活動費補助金 1,359,600円

○公民館長事務交付金 769,500円

⑥芦屋町文化協会と各種同好会の育成事業

○芦屋町文化協会が主催する「あしや文化祭」と「ふれあい文化講演」の各事業活動に対し人的支援等を行った。

○文化協会だより発行の支援を行った。

○芦屋町文化協会補助金 2,052,000円

⑦芦屋町青少年健全育成町民会議の支援

ア. 児童生徒の安全確保のための活動

○「みまもり隊」の推進

○「こども110番のいえ」の推進

イ. あいさつ運動

○各校区育成会議で街頭啓発を実施

毎月月初めの登校日（学期始めは2日間）を統一街頭啓発日と定め、地域の協力のもとあいさつ運動を実施。また、15日についても、町民会議役員が広報車に乗車し、啓発活動を実施している。

ウ. 非行防止のための夜間巡回

○長期休暇時を中心に、各区単位で地域の実状に応じて実施

エ. 校区コミュニティ醸成活動

○各校区の特徴に併せて、学校行事への参画やスポーツ行事を実施

- ・芦屋小校区：10月4日(金) 親子除草作業 5人  
11月9日(土) 芦小まつり支援 16人  
令和7年3月5日(水) 花いっぱいキャンペーン 2人
- ・芦屋東小校区：10月11日(金) グラウンド除草作業 13人  
11月9日(土) 東小まつり支援 18人  
令和7年3月6日(木) 卒業式支援(鉢植え花贈呈) 1人
- ・山鹿小校区：5月13日(月) 浜運動会支援(交通誘導・見回り) 16人  
11月9日(土) 山鹿まつり支援 17人  
令和7年3月12日(水) 卒業式支援(鉢植え花贈呈) 1人

○町内一斉清掃への参加呼びかけを行い、参加児童に参加賞を配布

参加者159人(芦屋小校区48人、芦屋東小校区63人、山鹿小校区48人)

#### オ. 研修会の開催

○指導者研修会：8月30日（金）※台風接近のため中止

#### カ. 啓発活動

○「町民会議だより（地区回覧板）」の発行…2回／年（5月・1月）

○「町民会議だより（全戸配布版）」の発行…1回／年（4月）※広報あしや折り込み

#### キ. 青少年の主張大会

○町大会：12月7日（土）

発表者9人（小学生6人、中学生3人）、司会者2人（中学生）

#### ク. 家庭の日啓発

○小中学生による作文、ポスターの作品募集

応募作品数：作文81点、ポスター113点

○ポスターの部：奨励賞3人

ケ. 芦屋町青少年健全育成町民会議補助金 600,000円

#### 取組への評価・課題

●町民会議、各校区育成会議の活動が活発化していくよう支援していく。

●「こども110番のいえ」掲示物のデザイン変更に伴い、「こども110番のいえ」及び「みまもり隊」登録者名簿の見直しと新規協力者の募集を行った。

#### ⑧公民館施設の改修

・芦屋東公民館中庭の水たまり対策のため、整地工事を行った。

・山鹿公民館駐車場の安全対策と駐車スペースの有効活用及び障がい者区画を明確にするため、区画線復旧工事を行った。

## (2) 図書館事業

### ①図書館まつり事業

○春の図書館まつり

○4月20日（土）～5月12日（日）

子ども読書の日（4月23日（火））にあわせた読書活動推進事業

・子ども読書の日特別おはなし会…4月21日（日）中央公民館 21会議室 参加者33人

・おすすめの本展示……………町内小中学校連携事業

4月20日（土）～5月22日（水）参加者244人

・ブックリサイクル……………保存期間切れの雑誌や新聞のリサイクル

4月20日（土）～26日（金）参加者154人

○図書館夏フェスタ

○7月6日（土）～8月25日（日）

・本の森探検ツアー……………夏休みを迎えた児童・生徒に読書のきっかけづくりとして、貸出冊数に応じたスタンプラリーの実施

パスポート配布枚数495枚 達成数296枚

達成延べ人数 小中学生106人 未就学児45人

大人 145 人 合計 296 人

- ・子ども図書館員……………7月27日(土) 午前9時45分～正午 6人  
(フレンズ Jr. 1人が手伝いで参加)

- ・図書館工作……………8月4日(日) 午後2時～4時 5人

#### ○秋の図書館まつり

○10月26日(土)～11月10日(日)

読書週間(10月27日(日)～11月9日(土))にあわせた読書活動推進事業

- ・おはなしの絵展示……………町内保育所(園)、幼稚園との連携。(図書館前ロビー)  
参加者 122人
- ・おすすめの本展示……………町内小中学校との連携。(図書館多目的室)  
参加者 206人
- ・ブックリサイクル ……………破損や長期保存の傷み等で貸出が少なくなった除籍本の  
リサイクル 10月26日(土)～11月1日(金)  
参加者 230人
- ・シール de ポン……………本の貸し出しとクイズを楽しむ 参加者 58人
- ・子ども図書館員……………11月2日(土) 午前10時30分～12時15分  
参加者 6人

#### ②子ども図書館員事業(再掲)

○図書館の仕事体験を通して子ども達に図書館を身近なものにする。

○7月27日(土) 小学4年生～6年生の計6人、フレンズ Jr. 1人 合計7人  
(図書館夏フェスタ事業)

○11月2日(土) 小学4年生～6年生の計6人(秋の図書館まつり事業)

#### ③図書館講演会など

○大人の上映会

6月15日(土) 午後1時～3時

「教誨師」の上映 参加者 36人

○THORES 柴本 トリニティ・ブラッド展

8月1日(木)～9月15日(日) 午前9時～午後5時 ギャラリーあしや

芦屋町出身の作家である故・吉田直氏の遺族より寄贈された、吉田氏の作品「トリニティ・ブラッド」の小説の表紙と挿絵の作者・THORES 柴本氏の版画作品の展示会。来場者 283人

○図書館講演会

9月29日(日) 午後2時～5時 中央公民館 21 会議室

柴田ケイコさん(イラストレーター/絵本作家)による講演会とサイン会

「柴田ケイコのゆかいな絵本の世界」参加者 89人

○冬の特別おはなし会

12月8日(日) 午前10時45分～正午 中央公民館 21 会議室

図書館ボランティア団体と絵本ミュージカルボランティアによるおはなし会 参加者 30人

○ぬいぐるみおとまり会

令和7年2月1日(土)午前11時～2日(日)午後6時

夜の図書館をぬいぐるみに探検してもらう企画。おはなし会と一緒に参加したぬいぐるみを預かり、翌日の午後6時までに迎えに来てもらう。ぬいぐるみが夜の図書館を探検している写真をプレゼントする。参加者9人

○お楽しみ上映会

令和7年3月2日(日)午後2時～3時

「すみっこぐらし とびだす絵本とひみつのコ」の上映 参加者28人

**取組への評価・課題**

- さまざまなイベントを実施することで、図書館への来館や読書活動の推進を図ることができた。

④図書館ボランティアの指導育成

○図書館ボランティアによる定期的な読み聞かせの実施

芦屋町図書館1階 おはなしのへや 各日午前11時～11時30分

○にじの会……………毎月第2、4日曜日

○お話ポケット……………偶数月第2土曜日

○赤ちゃんおはなし会「たち」……………毎月第1水曜日

○特別おはなし会の実施(再掲)

図書館ボランティアと連携し、中央公民館21会議室で年2回実施

○子ども読書の日特別おはなし会…… 4月21日(日)午前10時45分～正午 参加者33人

○冬の特別おはなし会…………… 12月8日(日)午前10時45分～正午 参加者30人

**取組への評価・課題**

- 幼児期の読み聞かせの大切さを周知することができた。
- ボランティア団体メンバーの高齢化と人数が減ってきていることが課題である。ボランティアと連携し、参加者増加のための広報活動に努める必要がある。

⑤「ブックスタート」・「キッズブック1・2・3」

○健康・こども課と連携し、毎月1回の4カ月児健診の時に、読み聞かせの大切さや絵本の面白さを伝え、子育てを支援する。

○乳幼児用の絵本2冊と保護者用の本、手提げ袋の配布。

○乳幼児の保護者に向けて「読みきかせの手引き本」の同時配布。

○配布対象者に図書館の紹介を行い、図書館の利用を促す。

○本年度は年12回実施し、63組の親子に配布。

(4/24(水)、5/29(水)、6/26(水)、7/24(水)、8/28(水)、9/25(水)、10/30(水)、11/27(水)、12/24(火)、令和7年1/22(水)、2/26(水)、3/26(水)に実施)

**取組への評価・課題**

- 家庭での絵本のよみきかせを始めるきっかけとなり、子育て支援・家庭教育支援につながっている。図書館の利用促進にも効果があり、引き続き関係部署と連携し成長過程でのよみきかせの必要性の周知を図る。

## ⑥町内小中学校、地域との連携事業の推進

### ア. 小学校見学受け入れ（図書館利用説明・館内見学・書籍の貸出）

- 芦屋小学校 2 年生 児童 36 人 引率 3 人 6 月 11 日（火）
- 芦屋小学校 3 年生 児童 27 人 引率 3 人 6 月 19 日（水）
- 芦屋東小学校 2 年生 児童 28 人 引率 4 人 7 月 3 日（水）
- 山鹿小学校 2 年生 児童 51 人 引率 4 人 9 月 18 日（水）

### イ. 小学校団体貸し出し

- 町内三小学校の全学年の児童数分の書籍を学期に 1 回、学年に応じた内容を選書し貸し出し。特別支援学級については、所属児童の実態、学年を考慮し選書を行った。

### ウ. 中学校団体貸し出し

- 書籍の貸し出しを中学生に拡充するため、芦屋中学校の文化委員会と連携して 11 月から 1 カ月間の貸し出しを実施。文化委員が図書館に来館し、職員の助言を受けながら、1 年生は各クラス 30 冊、2・3 年生は各クラス 20 冊の選書を行った。

### エ. 小中学校児童生徒の「おすすめの本」の展示（再掲）

- 春の図書館まつりと秋の図書館まつりで、児童生徒による「おすすめの本」を展示。
- 図書館内に、紹介された本を集めた特集コーナーを設置。

### オ. 中学 1 年生への「おすすめの本リスト」の配布

- 中学校を訪問し、新 1 年生におすすめの本を紹介することで、読書への興味を高め、図書館利用を促進する。6 月 7 日（金）
- 図書館内に、紹介された本を集めた特集コーナーを設置。

### カ. キャリア教育授業への参加

- 中学校主催のキャリア教育授業に参加し、図書館業務や司書資格の取得について説明を行った。令和 7 年 3 月 18 日（火）

### キ. 保育所（園）、幼稚園の見学受け入れ（館内見学・作品見学・館内での本の読み聞かせ）

- 園児たちの団体見学を受入れ、絵本に親しんでもらうために電子図書による読み聞かせの実施。

・芦屋保育園 年 7 回実施（9/4(水)、9/19(木)、10/1(火)、11/16(土)、11/22(金)、令和 7 年 3/11(火)、3/26(水)）

延べ 園児 107 人 引率 27 人

・芦屋中央幼稚園 令和 7 年 2 月 26 日（水） 園児 38 人 引率 6 人

### ク. 保育所（園）、幼稚園児の「おはなしの絵」の展示（再掲）

- 秋の図書館まつりで、保育所（園）、幼稚園児による「おはなしの絵」を展示。
- 図書館内に、紹介された本を集めた特集コーナーを設置。

## 取組への評価・課題

- 各学校や保幼と連携することで、芦屋町図書館の利用促進につながっている。今後も図書館資料や機材を活用した活動を継続し、町内全ての小中学校と、さらに多くの保育園、幼稚園との連携を深め、特に小学校高学年や中学生の図書館利用の推進に努める。今後は、児童の電子図書館の利用促進にも努めたい。

⑦地域との連携

おでかけシニア図書館

- 町内高齢者施設（まつかぜ荘）への毎月1回、30冊ごとの本の貸し出し。
- リクエストを受けて、施設利用者の希望の本を積極的に貸し出す。

**取組への評価・課題**

- 図書館に来ることのできない高齢者に、読書の楽しみを広げていくことができている。

⑧遠賀郡広域電子図書館の活用

- 電子図書館の利用促進を図り、電子図書館を活用した読書活動を推進した。
  - ・園児たちの団体見学时、電子図書館による読み聞かせを実施
  - ・中学校新1年生や乳幼児の保護者に対し、電子図書館の利用方法を説明

**取組への評価・課題**

- 電子図書館による読み聞かせや、図書館の利用案内時に電子図書館についての説明を行うことで、新規利用者の拡大を図った。今後、学校現場での活用方法について検討し、利用促進を図る。

⑨学習図鑑などの更新（令和4年～6年度事業）

- 古くなった学習図鑑などを重点的に更新した。  
令和6年度更新内容：SDGs、多様性、福祉、環境に関する書籍 141冊

**取組への評価・課題**

- 現行の学習指導要領や社会情勢の変化に対応した図鑑等を整備することができた。また学校図書室との連携にも支障があったが改善することができた。

⑩令和6年度利用統計

- 開館日数：287日
- 蔵書数 75,604冊（図書のみ）
- 登録者数

令和6年度新規登録者数				登録者総数（累計）			
児童	学生	一般	合計	児童	学生	一般	合計
67人	8人	175人	250人	873人	634人	4,212人	5,719人

- 利用者数（貸出人数）

児童	学生	一般	合計
3,027人	415人	11,380人	14,822人

- 貸出冊数

一般書	児童書	絵本	図書合計	雑誌	AV	その他	合計
40,454冊	12,142冊	17,125冊	69,721冊	3,283冊	522	7冊	73,533冊

- 広域利用

	岡垣	遠賀	水巻	北九州	中間	その他	合計
利用者	486人	154人	210人	1,566人	69人	6人	2,491人
貸出冊	2,849冊	931冊	911冊	9,232冊	368冊	80冊	14,371冊

○相互貸借

	絵本	児童書	一般	その他	合計
借受冊数	4冊	14冊	326冊	0冊	344冊
貸出冊数	14冊	14冊	219冊	0冊	247冊

○電子図書館利用者数（貸出人数） 301人

○電子図書貸出冊数 1,549冊

**取組への評価・課題**

- 電子図書館の活用も含め、より多くの利用を促し、利用者に満足してもらう図書館となるため、図書の選書、館内の本を紹介するコーナーの充実、イベントの検討を行っていく。

### (3) ギャラリーあしや事業

#### ①年間入館者

○2,989人の来館者があった。

**取組への評価・課題**

- 企画展や特別展以外の常設展示に力を入れるとともに、町民ギャラリーとしての更なる活用を促進するため、広報活動を工夫する。また、貸館については、円滑な展示会利用ができるよう、利用者支援を行う。

#### ②企画展・特別展の実施

○「田代桂子展」〔9月28日（土）～10月20日（日）〕開催日数：21日 来館者：729人  
芦屋町在住の画家・田代桂子氏の作品を展示した。

○「あしやんなーレ～みんなの美術展～」〔11月30日（土）～12月22日（日）〕  
開催日数：20日 来館者：275人  
芦屋町出身者を中心に、展示に関心のある県内外のアーティストの作品を展示した。

**取組への評価・課題**

- 「田代桂子展」では、油絵や芦屋・近郊地域や海外の風景画・スケッチに加え、世界各地で集めたお面や旗なども展示した。会期中はギャラリートークを開催した。また、田代氏や家族が全日程在廊しており、作品の解説や作家自身の哲学などを直接聞くことができ、来場者の満足度も高かった。
- 「あしやんなーレ～みんなの美術展～」では、町内外の10組のアーティストの作品を展示した。プロのアーティストや漫画家の参加もあり、さまざまなジャンル・作風の作品が展示されたことで、来場者からも見応えがあると好評であった。
- 特別展や企画展の広報や周知について、情報発信する手法が現段階で限られている。SNSやInstagram等での情報発信を希望する来場者も多い。町LINEや地域おこし協力隊SNSでの情報発信のほか、出展者のネットワーク利用やメディアに取り上げられるタイミングを検討する必要がある。

#### ③ワークショップの実施

ギャラリーコーディネーターによるワークショップを実施 総参加者数84人（ほか同伴者38人）

- ・第1回「粘土でスイーツ講座」・・・6月29日（土）参加者：18人（ほか同伴者10人）
- ・第2回「ステンドグラス講座」・・・7月20日（土）参加者：17人（ほか同伴者7人）
- ・第3回「親子で牛乳パック工作」・・・8月10日（土）参加者：10人（ほか同伴者5人）

- ・第4回「パラコード講座」・・・9月15日（日）参加者：8人（ほか同伴者2人）
- ・第5回「UVレジンアクセサリー講座」・・・11月16日（土）参加者：15人（ほか同伴者10人）
- ・第6回「クリスマスリース講座」・・・12月21日（土）参加者：6人（ほか同伴者2人）
- ・第7回「カラーフェルト講座」・・・令和7年3月23日（日）参加者：10人（ほか同伴者2人）

#### 取組への評価・課題

- チラシやポスターを作成・新たに小中学校を通じて配布するほか、試作品を公民館ロビーに展示することで、ギャラリー事業の周知や新規参加者の増加につながった。
- 講座内容について常に検討を行い、企画展・特別展に関連するテーマや新規講座を取り入れ、新規の参加者増へつながるよう努力する。
- こどもの参加者が多いと想定していた講座に大人が参加するなど、ワークショップの年齢層が幅広くなっている。

#### ④学校との連携・支援

- 「芸術家のたまご展」〔令和7年1月25日（土）～2月16日（日）〕

開催日数：20日 来館者：379人

芦屋町内の小中学校や近隣中学校及び中学校文化連盟などの作品を展示した。

#### 取組への評価・課題

- 「芸術家のたまご展」は、児童・生徒の作品が校外で観覧でき、来館者からは好評であった。

#### ⑤町所蔵作品の常設展示実施と貸しギャラリーの活用促進

- 「吉永勝個展」〔4月5日（金）～11日（木）〕開催日数：6日 来館者：120人

ギャラリーを利用者へ貸し出し、作品展が開催された。

- 「バーミリオン展」〔4月16日（火）～25日（木）〕開催日数：9日 来館者：433人

ギャラリーを利用者団体へ貸し出し、作品展が開催された。

- 「丹生忍冬齋展」〔4月27日（土）～7月14日（日）〕開催日数：68日 来館者：70人

ギャラリー収蔵作品のうち、丹生忍冬齋氏の作品を展示した。

- 「THORES 柴本 トリニティ・ブラッド展」〔7月25日（木）～9月15日（日）〕

開催日数：47日 来館者：283人

芦屋町出身の作家である故・吉田直氏の小説にまつわる版画展（芦屋町図書館事業）が開催された。

- 「第27回福岡県美しい景観選受賞作品展示会」〔令和7年1月7日（火）～17日（金）〕

開催日数：10日 来館者：40人

ギャラリーを利用者団体へ貸し出し、作品展が開催された。

- 「福岡県立美術館所蔵品巡回展 移動美術館展」〔令和7年2月22日（土）～3月16日（日）〕

開催日数：21日 来館者：525人

ギャラリーを利用者団体へ貸し出し、作品展が開催された。

- 「丹生忍冬齋展」〔令和7年3月20日（木）～30日（日）〕開催日数：10日 来館者：13人

ギャラリー収蔵作品のうち、丹生忍冬齋氏の作品を展示した。

#### 取組への評価・課題

- 常設展では、芦屋町にゆかりのある画家の作品展示することで、芦屋町の芸術やギャラリー事業の発信に取り組んでいる。
- 来館者は定期的に公民館を利用している同好会の会員やワークショップの参加者がほとんどであり、公民館を利用しない人への周知ができていない。ホームページやLINEを活用するなど、展示やギャラリーの貸し出し情報の周知方法を検討する必要がある。